

1. 受講のきっかけを教えてください。

本コースを受講する前は、会社の収益が減少傾向にあることに加え、社内の人間関係にも課題を感じており、どう向き合うべきか自分の中で整理がつかない状況でした。そんな時、旭川校の経営管理者養成コースのパンフレットを手にしたことが始まりです。特にパンフレットの中で目にした坂本講師の「人間力」という言葉が心に響きました。それまでも短期コースで坂本講師の研修を受講した経験があり、今度は長期コースでしっかりと学びを深めたいという気持ちから受講を決心しました。また、旭川校には寄宿舎が完備されており、函館から離れた環境で集中して学べるという点も受講を決意する後押しとなりました。

2. 本コースの良かったところを教えてください。

私は福祉業界で長く働いていますが、本コースには多業種からの受講生も多く集まっており、福祉以外の視点や考え方に触れることができたことが、非常に新鮮でした。特に印象的だったのは、同期に内モンゴル出身の方がいて、日本の常識が必ずしも世界で通用するわけではないことに気づかされたことです。苦楽を共にした当時の同期とは、今でもSNSでのやり取りや、旭川近辺で飲み会を開くなど交流を続けております。坂本講師の研修では、先ほど説明したとおり、同講師の短期コースを受講した経験があることと、「事業承継」の分野に精通しており、自身の将来を見据えて会社の経営全般を担える人材育成を考えていたため、坂本講師と一緒に登壇いただいた事例企業やビジネスゲームを通じて、経営全般の仕組みを学べたのが印象的でした。高橋講師の研修では、組織運営やコミュニケーションについて学びました。この学びを活かし、現在では、スタッフとの年1回の面談を通じて意思疎通を図り、経営者としての視点をスタッフの目線に落とし込んで話すことを心掛けています。後藤講師の研修では、苦手だった計数管理が理解できるようになり、数年先の経営計画などの策定で大いに役に立っています。インターバル期間中は、学んだことを自社に持ち帰り、自社にあてはめながら課題を整理し、インターバル明けに、講師や同期とディスカッションするということを繰り返し行うことで、学びをより実践的なものに昇華できました。また、ゼミでは発表機会もあり、それが訓練にもなり物おじしくなくなりました。



3. 今後についてお聞かせください。

旭川校の研修には、当社のスタッフを含めて受講を検討しております。また、函館で開催されるサテライト・ゼミへの派遣も前向きに考えております。当社の将来を見据えた経営を担っていけるスタッフを育成するためにも、「事業承継」に特に関心があり、スタッフに受講させたいと考えています。

4. 経営管理者養成コース卒業後の状況について、教えてください。

当社では、旭川校で学んだ内容を社内に共有し、スタッフ自身が当社の課題や問題点、SWOT分析を主体的に考える仕組みを取り入れています。その結果、スタッフが仕事に対して問題意識を持ち、指示待ちの姿勢が減り、提案や改善に向けた取り組みが目に見えて増え、モチベーションも向上していると感じています。これにより、業務全体でPDCAサイクルがスムーズに回るようになり、私は経営者としての本来の業務に集中できるようになりました。さらに、旭川校で学んだSWOT分析のフレームや当社の経営資源に関する枠組みを作成し、毎年それを活用してスタッフが自由にアイデアを書き出す機会を設け、継続的な改善と成長につなげています。

5. これから受講する方へメッセージをお願いします。

このパンフレットを読んだだけでは、全体像が漠然としているかもしれませんが、実際に受講してみると、安い投資だったと思えるくらい、多くの学びを得られる研修だと実感するはずです。リアルで行われる研修だからこそ、講師の熱意が直接伝わり、研修後の実践にも活かされると感じています。さらに、受講生には共通して、会社の将来を見据えたビジョンを持ち、企業の発展に強い意欲を持った方が多い印象です。こうした仲間との交流は大きな刺激となり、自身の成長にもつながると思います。是非、旭川校で本コースを受講することをおすすめします。

〈株式会社ケア・スキル(函館市)／会社概要〉 事業内容:医療・福祉業 資本金:600千円 設立:2017年4月 従業員数:25名



▲ グループ演習



▲ ビジネスゲーム



▲ 講義①



▲ グループ発表



▲ ゼミナール(マーケティング戦略)



▲ 成果発表



▲ ゼミナール(総合戦略)



▲ ゼミナール(組織戦略)



▲ 講義②



▲ 交流会